

宮川浄化センター管理棟

所在地：三重県伊勢市



和の建築

宮川浄化センターは三重県伊勢市に位置する。同市内には伊勢神宮があり、市内随所に伝統的な建築物が見られる。そのため、設計コンセプトとして浄化センターの各建物に和の要素を取り入れる様に計画した。大きく張り出した庇とそれを受ける梁を設け、建物に陰影を与え表情を付けるようにした。また視認性と建物を特徴付けるため、玄関には大きく張り出したキャノピーを設け、玄関前面にカーテンウォール（ガラス材）

を採用した。ファサード側は機能的に配置したバルコニーにより、建物に連続性と表情を付けた。内部のエントランスは、玄関キャノピーを屋内に入り込ませることでダイナミックな印象とした。2層吹き抜けのエントランスはカーテンウォールによりやさしい光が差し込み、ガラス越しに屋外と屋内が一体に感じられる空間となっている。内装材は珪藻土を使用することで落ち着いた空間が広がるように演出した。



階段から外を望む



外部から柔らかい光がさし込む



開放的な吹き抜け